

自閉症児から学んだこと～ホメオパシーと共に歩んだ、私と Y ちゃんの 1 年～

ファミリーホメオパス 木村 知佐

保育施設で働くようになり、3 年が経過しようとしている。保育所では、子どもの怪我、子ども同士のトラブルは付き物なので、エプロンに、マザーチンクチャー、レメディー等を吹き付けている。そうすることで、子どもの怪我の回復が速かったり、心を癒し、問題行動を改善できたり、泣いている子が即座に落ち着きを取り戻したりできるようになっている。

ホメオパシーを使用し、たくさんの子どもの心の問題、行動を解決してきた。そういった事に対し瞬時に反応し癒しながら、良い方向に導くのがホメオパシーの凄さだと思う。

【具体的内容】

【主訴】 女児 Y ちゃん 5 歳

自閉症児、神経が過敏で見たいものが見れない、集中できない、落ち着きがない。

自閉症で言葉が話すことができないが、こちらの話していることは何となく理解しているようだった。年中組の時は、教室内をウロウロ歩き、落ち着きのない姿が多々見られた。降園時間が曜日によって違う為、混乱して泣き叫び、服を脱ぎ裸になり怒りをあらわにする。予期していない事柄に弱く、いつも通りにいかないとパニックになって泣き、気分が落ち着くまで時間がかかり、担任も手を焼いていた。

彼女を見ていると、いつも『こんなはずではなかった』と怒りの感情が伝わってきており、今の現状に不満があるように思えた。行動や、反応等は自閉症の症状が見られても、心の奥底で、この状態を自覚し、理解し、どうにかしようともがいているように感じた。彼女は心の声を私に送ってくる事があり、年中組に補助で入った時は、その声を頼りに彼女の行動を分析し、会話するようにしていた。そうしてあげると嬉しいようで、抱き着いて私から離れようせず笑顔を見せてくれる。

年長児になり、土曜日担当の先生の言う事を聞かず、やりたい放題で困っているとのことと私に土曜の担当になって欲しいと依頼が来た。

彼女の心の声と行動を分析した時、専任の先生からの言動や、強硬的な対応が嫌なんだということが分かった。加配児の為、専任の先生いるが、5 年以上一緒に過ごしているのに良好な信頼できる人間関係が築けておらず主従関係のようであり、その反動が土曜日の保育に影響していると感じた。私は友達のような関係でいよう、彼女のする事、やりたい事、出来る限りやらせ、一緒に楽しもうと決めた。

怒りの感情の緩和、神経が過敏になり見たいものが見れない、集中できない問題があるようだったので、少しでも問題解決になればという思いから、挑戦してみることにした。

【レメディ―選択】(数字が書いてないものは全て30c)

Alum,Carc,Merc,Bar-c,Hyos,Verat,Lac-mac,Tarent-c,

Obsid,Ruby,

Kator-w,Atsut-hakken-s,Otoshim-w,Shibut-wChogo-w

ハーブ…バーバスカム、アルファルファ、ハイペリカム、パッシフローラ、ギンコビローバ

ミルフォリウム、

マザーチンクチャー…サポート Attack,

サポート腸、サポート神経、不満攻め、粗末、拷問、役立たず、自己卑下、許し、

※これらを交互に使用していった。エプロンにスプレーして保育する。

【選択の根拠】

・ **Alum,Carc,Merc,Bar-c,**

本児は、自閉症のように見えるが、精神、魂等は、普通の子と変わらず、成長、成熟しているように感じられた。言葉を発することができない、体が思い通りにいかない中、もがいているように見えた。ある時期までは、体をコントロールできていたのではないかと思った。やはり、予防接種の害が原因ではないかと疑った。薬物の排泄が必要だと考え選択した。

・ **Hyos**

パニックになったり、思い通りにならなかったりすると怒りを露わにし、服を脱ぎ走り回る。

子どもの怒りの裸の大将現象に合うと講義で習ったことから。

・ **Verat**

発達障害に合うと講義で習ったことから。

・ **Lac-mac,Tarent-c**

行動に落ち着きがない、脳神経の発達にマンガンが足りてないと思ったことから。本児は、スピリチュアル的な能力があるように感じ、(分かる人には伝わるテレパシーを発信している)天界とのつながりを受けられるように選択した。

・ **Obsid**

自分を邪魔する障害物を取り除き、人生の目的に気づく、自閉症に合うとあったので選択した。

・ **Ruby**

本児からの怒りの感情を常に関心を持って聞いていたことや、化学薬品や毒素の排泄を早める事ができることから。

・ **Kator-w,Atsut-hakken-s**

本児は、重度の自閉症児だが、周りの事をよく理解しているように見える。みんなと自分との違いなども分かっているように感じた。また、専任の先生に圧力的な行為による萎縮や、母親が、本児に対し時々ヒステリックになる事から、精神的に辛い思いをしている、他者から酷い目に合うなどを感じ取っていると思い選択した。

・ **Otoshim-w,Shibut-w,Chogo-w**

私と行動する中で、母親、保育園生活、専任の先生とのストレス、訓練学校にも通っており、疲れと抑圧した感情が一気に爆発する事があった。常に我慢しているのを感じた。見下された感情、自分の価値を認めて貰えない思い、攻撃したい気持ちを癒すため選択した。

・ **パーバスカム、アルファルファ**

ハーブマザーチンクチャーの本に、発達障害などについて書いてある項目に、腸からの栄養吸収ができず、落ち着きがなく衝動的になる。とあった。本児は、偏食（甘い物好き）で便秘気味、気管支が弱く喘息傾向もあるようで、気管支拡張シートを背中に貼っている時があった。耳の聞こえなども気になり、腸の働きが良くなれば、衝動的行動は改善されるのではないかと感じたため。

・ **ハイペリカム、パッシフローラ、ギンコビローバ**

本児は、ムラがあるが、言葉のニュアンスをよく捉えており理解している。神経が過敏に反応して体を上手く操作、動かすことが難しく、自分のしたいことができず藻掻いている、周りの環境に適応しようと疲れている時もあったので、脳神経の発達を促し落ち着くことができるハーブを選択した。

・ **ミルフォリウム**

暴力的な子に合うことから選択した。

・ **サポート Attack, 不満攻め、粗末、拷問**

攻撃的な一面、今の状況に不満を持っている点、母親、専任、担任の先生に認めて貰えず、粗末に扱われ、拷問のように感じているのが分かり選択した。

・ **サポート役立たず、自己卑下、許し**

本児は、とてもプライドが高いところがある。こんな自分を許せていない、今の自分を責めているように感じたので選択した。

【経過 1】

Y ちゃんは、すごい努力家だ。会うたびに一段一段とできる事が増えていった。昼食を食べている時、「あー」と声を出しながら笑顔になり、周辺を見回し何かを見て喜んでいるようだ。私が Y ちゃんに手を振ると、目が合い、こちらをじっと見つめていた。焦点が合わないのが常だったが、この目を境に、呼びかけると、こちらに顔を向け、目を合わせる事が

できるようになった。

以前は、教室をウロウロ歩き回ったり、目的もなく施設内をさまよい走り回ったり、落ち着きがなかったが、自分のやりたいことを見つけ集中して遊び、終わると片づけをし、自分の好きなおもちゃのある教室へ行き、と目的や意志が明確に行動に現れるようになった。9月に入ると、トイレトレーニング、運動会、訓練校にも通う、でなど多忙なようで、抑圧した感情が一気に噴き出した事があった。注意された事、行動を制止されたことが嫌だったようで、暴れ、「頑張ってるんだから、少しくらいいいじゃない」と心の声が聞こえ、その場で怒りのお漏らしをしたことがあった。保育後、自分の行動で何が良くなかったか思い返してみた。彼女に対し友達でなく、命令、支配しようとしていた自分がおり、私のインナーチャイルド癒しにもつながった。彼女から気づきを貰え、自分にとって良い体験だった。

(その日はベルリンウォー、サイマスグランドをプラスしていた)

しゃべれない、分かってももらえないジレンマを抱えて生きる事の辛さ、苦しさを分かっていた自分がいた。『今度こそ本当の友達になろう、自由にさせよう』と心に決めた瞬間だった。

担任の先生や、専任の先生に Y ちゃんへの理解と成長をよりもっと促すために、Y ちゃんが感じている事や、提案、意見を伝えるように心掛けた。

【レメディー選択】(数字が書いてないものは全て30c)

以下のレメディー、マザーチンクチャーもプラスする。

・ **Puls200 ,Acon200**

5歳でトイレトレーニング始め、まだ安定していない様子。家でも面倒くさいとおむつを履きたがり、尿意も感じにくく、不安定な事もあったのと、お漏らしにいいと習ったことから。

・ **ベルリンウォー、サイマスグランド**

保育をしていて問題行動が多い子(虐待を受けている子、多動児、暴力的な子、暴言を吐くなど)特に家庭に問題がある子が反応して、何かを思い出して泣き叫ぶことがあり、抑圧した感情の浄化をスムーズに促し、乗り越えて成長している姿が見られたことから選択した。

・ **DX-Plat**

プライドが高い性格があったことから。

・ **Hydrog-p**

自閉症児にいいとコンGRESで知ったことから。

・ **マザーチンクチャー4種の予防接種の害**

1歳児のまでの知能があると担任から話があった。1歳までは、普通児と変わらなかったのではないかと推察し、予防接種の害を疑ったことから。

【経過 2】

大切にしたのは、本児のやりたいことを最大限できるようにしたこと。

Puls200 ,Acon200 をプラスしたこともあり、お漏らしはあの日以来、無く、介助する側もトイレに行くタイミグが分かるようになり声掛けに応じトイレにいつている。2月になると自分のタイミングで行けるようになった。(他の園児にも効果があったようで、なかなかおむつを卒業できなかった子が、パンツをはくようになり自慢してきた事があった。)

感情面では、自分の思い通りにいかないと泣き喚き服を脱ぐ行為も減り、大泣きしても自分の中で解決をし、納得する、服を脱ぎ怒ったとしても、ほとぼりが冷めると自分で服を着るようになった。

ごくたまに、「いやだ」「いいよ」発語しようとする姿も見られるようになった。

お漏らしの事があってから Y ちゃんに伝えているのは、「これからは、たくさんの人が Y ちゃんを助けてくれるよ。だから大丈夫。Y ちゃんは素晴らしいね。私に気づきをくれたよ。ありがとう。大好きだよ。」と言うと、にっこり笑って抱っこをせがみ、顔を近づけ、頬をすりすりくっつけてくる。優しい言葉をかけると答えてくれるようになった。

彼女を見ていると自分の写し鏡を見ているように思えた。彼女の抱えている問題は私事と捉えインナーチャイルド癒しをした。そのおかげもあって、自分自身の心と体の不調に気づくことができ、自分自身も一歩前進することができた。

3月時点で、本児は、ハンドサインなどを自ら使用し、人に分かるように自分の意思を伝えられるようになっている。褒められると嬉しいようで、張り切っており、行動にも意図や、意思を強く感じる。思い通りにいかないと大泣きするが、以前のようなパニック的な泣き方でなく、できなかった悲しみ、やりたかった悔しさを感じ、普通の子と変わらない感情の出し方に近づいているようだ。本児らしい姿なのだと思っている。ただ、今まで、受動的に大人の高圧的な行為を受け入れてきた反動なのか、暴力行為が顕著になってきている。4月から小学校へ入学するので、出来る限り暴力行為を阻止できるよう伝えていきたい。

【経過 3】

Y ちゃんと過ごす最後の土曜日 3月15日、日々の怒りからくる暴力行為が気になり、Staph、Bell をプラスする。他の園児との兼ね合いもあるので、許す限り、遊びを見守り注意はしない。やりたいことをやらせる事を念頭に保育することを決意し、そのことだけに集中した。周りの先生に、「Y ちゃん裸足だね~寒いんじゃない」「じょうろに水入れて遊んで~」と白い目で見られたが、気にせずやらせた。Y ちゃんは、自由に遊びながら色々と発見したり、実験したりしていた。今まで、やらせてもらえなかったことを思う存分楽しんでいるようだった。その姿を見て、私自身に偏見があったことを気づかされた。周りからの目、無言の圧力、〇〇しちゃいけない、〇〇でなければならない。感じ取りすぎて自分

にバイアスがかかっていた。そのせいで Y ちゃんの学びの場を奪っていたんだ。もっと自由に、解放してあげればよかった。Y ちゃんの行動から学ばせてもらえた瞬間だった。先生が「最近、荒れ気味だったけど、今日は穏やかですね。」 1 日ニコニコだったようだ。

【考察】

ホメオパシーの力と意思の強さ、どうにかしたいと思う気持ちが、効果的に心と体の改善につながったと考えています。こちらの思いだけでなく、患者さんの自身の気づきと思いがないと、レメディーは働かないことを実感しました。

どんな時も、患者さんの抑圧していた感情を、一度噴出させ、共に寄り添わなければ本当の解決には至らないと思います。

Y ちゃんを見ていると、自分の置かれた状況をどうにかしたいという思いがあったことを強く感じました。もともと向上心があり、会うたび、日々の成長が見られました。

Y ちゃんの行動は、自分の自由や権利を獲得するために戦い、主張していたのではないかと感じています。井手先生に保育に関して相談した時、第一に、子ども自身を見守ること。その行為から子どもの沸き上がる感情や行動を、読み解き、分析し、感じ取った事をもとに、その子に合った言葉掛けや、必要な支援をしていくことがとても大切なのだというお言葉をいただきました。私は周りの目ばかり気になり、子どもを従わせようとして、できていませんでした。Y ちゃんに頬をビンタされた事もありました。『気づきなさい』のサインだったのかな。最後の最後日になって痛感しました。

Y ちゃんとの出会いが、私の保育に対する思想を根幹から変えてくれました。また、Y ちゃんの抱えている問題を自分事として見つめ、自分自身インナーチャイルドに気づき、対処できた事も相乗効果を生んだのだと思いました。課題は残っていますが、この思いを大切にこれからも保育をしていきたいです。

Y ちゃん、あなたに出会えて本当に良かった。ありがとう。

親愛なる方の導きが私をホメオパシーに出会わせてくれました。

そして、パワフルな笑顔が素敵な井手先生、いつも感謝しています。ありがとうございます。